ラグース
Ragus
―アイリッシュダンス―
Return to the Heart of Traditional Music and Dance

マドンナ、レディ・ガガ、ストーンズ、ピアフ等を送り出した名門、パリのオランピア劇場で大絶賛を受けたショーが再び。2002年にNHKハイビジョンの民族音楽・舞踊シリーズで紹介され話題となったラグースが、5年ぶりにアイリッシュ・トラッドの真髄を届けに日本へやってきます。ラグースはアイリッシュダンスだけでなく、フィドルやパイプ、アコーディオンが光るライブバンド、心に透き通るような懐かしい歌声の女性歌手、これら全てが三位一体の完全エンターテイメント・ショー。

"耳"で伝えられていくアイルランドの音楽は、シンプルで分かりやすく楽しげですが、時に烈しく、そして儚く、悲しく…まるで時代から時代のすべてを物語っているよう。人の魂を揺さぶる民族音楽への入門にぴったりなアイリッシュ・トラッド。そしてラグース!アイルランド伝統音楽界の第一線で活躍を続けるカンパニーディレクターをはじめ、輝かしい経歴のダンサーたちとバンド、そして歌手が、日本に最高のアイリッシュ・エンターテイメントをお贈りいたします。

ファーガル・マーフィ　Fergal Murphy
ディレクター／アコーディオン／ヴォーカル

アイルランド北部メイヨー州生まれ。アイリッシュ・エンターテインメント・カンパニー「ラグース」をディレクター兼音楽監督として率いる傍ら、アコーディオン奏者やヴォーカリストとしてのソロ活動も数多くこなしている。特にアイルランド伝統歌唱法の"シャン・ノース"の歌い手としては、音楽分野における権威ある大会"オール・アイルランド・チャンピオンシップ"に常連入賞を果たしている。このようなアイリッシュ音楽界での国際的な活躍はテレビでも特集されるまでとなり、これまでにカントリー・ミュージックの第一人者ドリー・パートンやザ・チーフタンズ、デレック・ベルなど、数多くの著名アーティストとも共演をしている。その他、ケルティック・レジェンドのツアー・プロダクション「PELE MELE」における音楽監督、音楽教育プログラム「TRAD IN THE CLASSROOM」の共同設立なども務め、アイルランドの音楽文化における重要な人物の一人として今後の活躍に期待が寄せられている。

ラグース　Ragus

アイルランドの西、ゴールウェイ湾に浮かぶアラン諸島最大の島、イニシュモアにて1998年に発足。伝統的なケルト音楽を中心とした、歌およびダンスのエンターテイメントショーで話題のカンパニー。「ラグース」は、ゲール語で"衝動"や"熱望"を意味する。イニシュモア島での成功を経て、カンパニーを拡大。2001年に本拠地をダブリンへ移し、世界へと進出する。これまでに、日本をはじめ、ヨーロッパ各国、アメリカ、オーストラリア、南アフリカなどでツアー公演を行い、成功を収めている。
全てのメンバーがアイルランドに起源をもつミュージシャン、ヴォーカリスト、ダンサーで構成され、舞台上の全てをライブ（生きる音楽）で届けることをモットーとし、アイルランドの真の伝統を各地に伝え続けている。

ご注意とお願い チケットをお求めの際は、予め下記の事項をご了承くださいますようお願い致します。

※未就学児のご入場はご遠慮ください。
※会場内における飲食、喫煙はご遠慮ください。　※写真撮影、録音、録画はご遠慮ください。
※開演後のご入場は制限させていただく場合がございます。
※本チラシに記載されておりますキャスト等の情報はやむを得ない事情により、変更となる場合もございますが、お買い上げ頂きましたチケットのキャンセル、変更および払戻しはできませんのでご了承ください。

公演情報配信中！

インプレサリオ東京
公式ツイッターアカウント
@impresariotokyo